



エクスプレス貨物用

梱包ガイド



THIS VEHICLE IS POWERED
BY ELECTRIC DRIVE. 

4

RECOMMENDED WEIGHT

1 = 0.5 kg / 1 lb	5 = 10 kg / 20 lb
2 = 1 kg / 2 lb	6 = 15 kg / 30 lb
3 = 2 kg / 4 lb	7 = 20 kg / 40 lb
4 = 3 kg / 6 lb	8 = 25 kg / 50 lb

dhl.com

DHL Express



エクスプレス輸送のための正しい梱包

梱包方法の確認

適切な梱包資材の選択

適切な梱包方法

密閉とラベル貼付け

DHL Expressは、お客様のお荷物を時間通りに、確実にお届けするために最善を尽くしています。

DHLのグローバルネットワークを通じて、お客様の貨物は何千マイルもの旅を続け、最終目的である配達先へ到着します。貨物を適切な資材を使って正しい方法で梱包する事が、途中で破損することなく、安全に目的地に到着する上で重要となります。

梱包は、エクスプレスでの輸送を念頭に置いていますか？貨物は、コンベアや航空機、作業員のハンドリングなど、多くのプロセスによって取り扱われるため、より厳しい梱包基準が求められます。

送り主は常に適切な梱包を行うことが義務付けられています。この梱包ガイドでは、一般的な注意事項や適切な梱包方法の例をご紹介します。貨物の内容品の種類によって梱包方法や保護方法が異なり、電子製品、ファッションアパレル、パレット貨物、温度管理品などの梱包に関する具体的なガイドラインは、dhl.comをご覧ください。

ご不明な点がございましたら、DHL カスタマーサービスまでお気軽にお問い合わせください。

クイック・ヒント

上手な梱包の基本ステップをご紹介します

ステップ1-確認

- 重量と内容品
- 貨物の価格
- 輸送規則



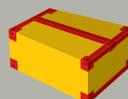
ステップ2-資材方法

- 二重壁の段ボール箱を使用
- 内容品や箱の外壁から6cm以上の間隔を確保する
- 緩衝材を詰める



ステップ3-封止

- 幅48mm以上の感圧接着テープを使用する
- テープをH字に貼り、すべての端と継ぎ目部を封印する



ステップ4-ラベル貼付け

- 荷物上面に運送状・ラベルを貼る



免責事項

本書に記載されている情報は一般的なものであり、特定の状況において適用されるものではありません。また、適切な資格を有する専門家による法律その他のアドバイスに代わるものではありません。本書の作成には細心の注意を払っておりますが、DHL Expressは、適用される法律で認められる最大限の範囲において、本書に記載された情報に関連するすべての表明、保証引き受けおよび保証を除外します。常にすべての適用法、規則および要件に準拠することは、送り主の責任です。すべてのサービスは、DHL Expressの運送約款に基づき提供されるものであり、同約款はDHLウェブサイト、もしくはDHLカスタマーサービスより入手可能です。

梱包方法の確認

損傷を防ぐには、質の高い梱包が重要です。梱包の必要性を判断することは、輸送する商品のタイプに最適なものを決定するために不可欠なステップです。

梱包の仕様を決定する際に考慮すべきポイント

重量	<ul style="list-style-type: none">■ 梱装箱の強度と耐久性を確認してください■ 輸送する内容品の重量に、確実に耐えられる適切な資材が必要です
サイズと形状	<ul style="list-style-type: none">■ 内容品が梱装箱の内側の面に触れないようにしてください■ 異形または丸みを帯びたパッケージは、特別な注意が必要な場合があります
内容品	<ul style="list-style-type: none">■ 液体や粉末状の商品の輸送には、特別な梱包材と梱包技術が必要です
内容品の価値	<ul style="list-style-type: none">■ 高価な商品には特別な緩衝材と保護が必要な場合があります
耐久性	<ul style="list-style-type: none">■ 壊れやすいものには、特別な緩衝材と保護が必要です■ 特別取扱いラベルを添付します
用途	<ul style="list-style-type: none">■ 梱装箱は小売店陳列用にする必要がありますか？ 梱装箱に印などのマークを付けても問題ありませんか？
規則	<ul style="list-style-type: none">■ 規制対象品目によっては、専門的な梱包が必要な場合があります



影響要因



重量



湿度



コスト

...

その他

危険物

食品香料、香水、化学薬品、バッテリーを含む電子機器など「航空危険物」に分類されることをご存知でしょうか。

DHL Expressで危険物の発送をご検討中のお客様は、DHL カスタマーサービスまでお問い合わせください。

危険物を輸送する場合、適切な危険物輸送規制 (IATA DGR、ADR、IMDG など) に従わなければなりません。また、DHLでは荷物は必ず外箱に入れることを義務付けております。

IATA危険物規則書において、「特別規定」の適用により、荷物を非制限品目として出荷する場合、DHL Expressではラベルに以下の記載をお願いしております。 AirWaybillに「**Not restricted as per special provision XXX**」と記載する必要があります。

制限および禁止されている商品

DHL Expressでの輸送が禁止されている品目は、「輸送禁止品目」または「輸送制限品目」に分類されます。

詳しくはDHL.comをご覧ください。カスタマーサービスまでお問い合わせください。

適切な梱包資材の選択

輸送中の内容物の保護には、適切な梱包を行うことが不可欠です。DHLで十分に試行、試験されたさまざまな梱包資材をご用意しております。お客様ご自身で梱包資材をご用意される場合は、以下の一般的なガイドラインをご参照ください。

本ガイドは、多種多様な製品梱包における一般的なガイドラインですので、内容品によってはそれぞれの包装規格も参照することを推奨します。

外装梱包資材

貨物	
材質	<ul style="list-style-type: none"> ■ 貨物には必ず高品質の厚みのある段ボール箱を使用してください。壊れやすいものや重いものには二重または三重構造の段ボールの使用を推奨します ■ 古い箱を再利用するのは避けてください。強度が損なわれている恐れがあります
強度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 箱の構造や強度が表示されているメーカーの刻印を確認してください。必要に応じて、段ボール箱資材のサプライヤーに詳細情報を問い合わせてください ■ 以下の段ボール箱の仕様を参照の上、内容品の重量にあった適切な梱包材を選択してください
サイズ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 段ボールの下側のみ内容品を詰めたり、内容品を詰め過ぎた場合、箱が壊れる恐れがあります。これを防ぐため、輸送する内容品に合ったサイズの適切な箱を選ぶ必要があります
フライヤーバッグ	
強度	<ul style="list-style-type: none"> ■ バッグの裂けや破損を回避するため、フライヤーバッグの張力(伸縮性)と継ぎ目部(粘着部)の強度は以下に示す推奨基準を満たす必要があります ■ DHLのビニールフライヤーバッグは、破断前の最小伸長度(伸縮性)が35cm、継ぎ目部は30%増の重量に耐えます



内容品の重量に合った適切な梱包箱またはフライヤーバッグを選択する

箱の仕様				フライヤーバッグの仕様			
貨物の重量	構造	バーストテスト (kPa)	エッジクラッシュテスト (kN/m)	書類重量	構造	継ぎ目部の強度	引張強度 (MPa)
5kgまで	一重構造	1000	4.5	3kgまで	ポリエチレン (60μm)	6 kg	MD/TD 25MPa 400%の伸び 破損時
5-10kg	一重構造	1000	4.5				
10~15kg	二重構造	1000	7	備考			
15-20kg	二重構造	1000	7	■ バーストテスト (別名ミューレン試験) とは、段ボール箱の側面を破裂させるのに必要な1平方インチ当たりの力をボンドで表したものです。この結果は、箱が外部または内部の力に耐える能力や、荒い取扱ひ中に内容物を保持する能力を示します			
20-25kg	二重構造	1200	8	■ エッジクラッシュテスト (ECT) は段ボール箱やファイバーボードの積み重ね強度を測定します。完成した箱の圧縮強度を決定するのは、箱を立てて押しつぶすために必要な力の量です			
25-30kg	二重構造	1200	8	■ 継ぎ目部の強度は、継ぎ目部が破損する荷重を示します			
>30kg以上			特殊な梱包方法	■ 引張強度とは、資材が破損する前に引き伸ばし、または引張った際に資材が耐えうる最大のストレス(圧力)を示します			
				■ エッジが硬いものは、プラスチックを突き破る可能性があるため、フライヤーには適していません			

DHLの梱包資材



DHLの梱包資材は、DHLのアカウントをお持ちのお客様に提供されます。オンライン注文またはDHLカスタマーサービスからご依頼いただけます。DHLのアカウントをお持ちでないお客様でも、DHLをご利用いただく場合には数量に限りがありますが、資材をDHLサービスポイントでご依頼いただけます。



箱					
箱タイプ		重量制限	サイズ (mm)	バーストテスト (kPa)	エッジクラッシュテスト (kN/m)
箱 2		1 kg	337 x 182 x 81	1000	4.5
箱 3		2 kg	337 x 322 x 92	1000	4.5
箱 4		5 kg	337 x 322 x 180	1000	4.5
箱 5		10kg	337 x 322 x 345	1000	7
箱 6		15kg	417 x 359 x 369	1000	7
箱 7		20kg	481 x 404 x 389	1200	8
箱 8		25kg	541 x 444 x 409	1200	8

エンベロープとフライヤーバッグ*					
タイプ		重量制限	サイズ (mm)	シーム強度	引張強度
エクスプレスエンベロープ (厚紙タイプA4サイズ) GoGreen Plus		0.3 kg	320 x 240	—	—
エンベロープ 0		0.5 kg	252 x 190	—	—
エンベロープ 1		0.5 kg	350 x 275	—	—
スタンダードフライヤー (B4ビニールタイプ)		2 kg	400 x 300	4 kg	MD/TD 25Mpa &400%の伸長度 (破損時)
ラージフライヤー (A3ビニールタイプ)		3 kg	475 x 370	6 kg	MD/TD 25Mpa &400%の伸長度 (破損時)



備考: 上記の寸法は参考値です。提供する梱包資材の種類は国によって異なる場合があります。ご利用可能なオプションについては、オーダーポータルをご参照いただくか、DHLカスタマーサービスまでお問い合わせください。
*DHL Expressの梱包資材 - ビニールフライヤーは、再生プラスチックを66%以上使用しており、100%リサイクル可能です。

内部梱包資材

気泡緩衝材 (通称:プチプチ) や、エアバッグ、段ボール、フォーム緩衝材/ペレットなどはすべて、梱包材としてよく使われています。それぞれ適切に使いこなすことが重要です。

以下の表は、どの種類が内容品に適しているかを判断するのに役立ちます。なお、気泡緩衝材は空洞を埋めることができますが、より大きなスペースを埋めようとする場合は、他の資材を使用する方が効果的です。



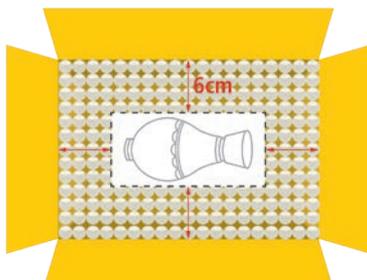
梱包材の機能					
資材の種類	緩衝	隙間を埋める	保護	分割する	その他の機能
気泡緩衝材 (通称:プチプチ)	✓	✓	✓		
狭い隙間1/4インチ 軽量の内容品に適する					合紙
広い隙間1/2インチ 中程度の重さの内容品に適する					ブロック
フォームシート	✓	✓	✓		
フォーム緩衝材	✓	✓		✓	
エアバッグ		✓			
しわ紙		✓	✓		
板紙の仕切り		✓	✓	✓	
シュレッダー紙		✓	✓	✓	衝撃吸収

適切な梱包方法

梱包方法をご紹介します前に、梱包作業における重要な原則をご紹介します。

隙間を残さない

- 箱の中で内容品が動かないようにするため、隙間を完全に埋めることが重要です。輸送中に内容品が大きく動くと、商品と箱の両方にダメージを与える可能性があります
- 箱の底に緩衝材を詰め、次に発送する内容品の周囲にも緩衝材を詰めます。隙間や動きがないことを確認してください
- 隙間を埋める緩衝材を選ぶ際は、必ず内容物の重量を十分に支えることができる資材を選んでください。材質によっては内容物の重さで沈んだり膨らんだりして、時間が経つと箱の中に隙間ができてしまう恐れがあります



6cmの間隔が重要です

- 発送する内容品は、常に箱の内側面や角から6cm離し、箱の中央に置くようにしてください
- 箱の大きさを決める際には、この間隔を考慮してください

内容品を個別に包み、仕切りを使用する

- 複数の内容品を1つの梱包で発送する場合は、必ず各内容品を個別に包み、必要に応じて段ボールなどの仕切り材で分けてください
- 仕切り板は、輸送中に個々の内容品同士が接触することによる損傷を損傷するのを防ぎます。特に積み重ねて入れる場合は、この方法を遵守してください
- 小さなものやばらつく内容品は、内部用容器やポリ袋などに入れて、輸送中に内容品がバラバラにならないようにします



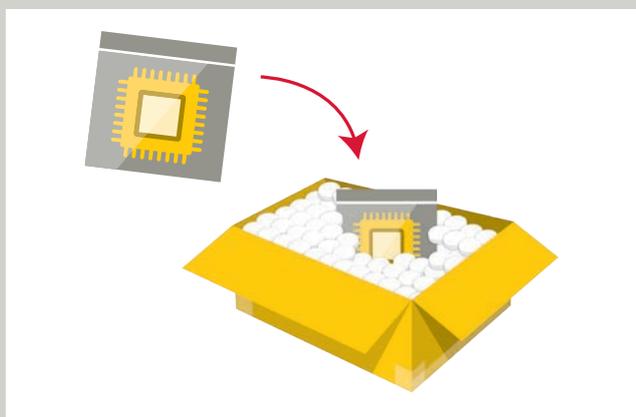
梱包手順

使用する最も適切な梱包方法は、P2にて案内した各項目によって決まります。DHLが推奨する主な梱包方法は以下のとおりです。サポートが必要な場合は、お近くのサービスセンターまでお問い合わせください。

基本的な梱包方法

保護レベル: ■■■■

壊れにくい内容品 (印刷物、機械部品、金属部品など) に適しています。

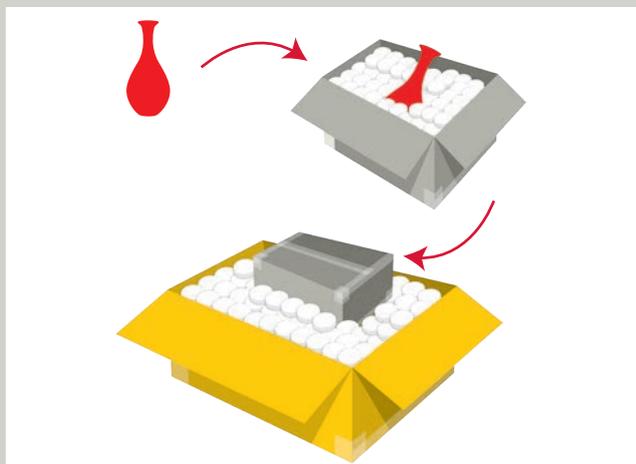


- 二重構造の段ボール使用をお勧めしますが、一重構造の段ボール箱を使用する場合は、内容品の重量に耐える強度があることを確認してください。
- 湿気や汚れの影響を受ける可能性のあるものは、丈夫なビニール袋や容器に入れて保護してください。
- 内容品は、常に箱の内側面や角から最低6cm離して箱の中央においてください。
- 1つの箱に複数の内容品を入れて輸送する場合は、内容品を1つずつ個別に包み、仕切りなどを使って内容品同士が互いに接触しないよう分けて入れてください。
- 輸送中に箱の中で内容品が動かないように隙間を埋めてください。

ボックス・イン・ボックス方式

保護レベル: ■■■■

ボックス・イン・ボックス方式は、2つ目の外箱を利用し、さらなる保護効果をもたらします。より壊れやすい品物の輸送や、以下のような場合に有効です。内箱は小売用に使用される場合もあります。



- 外箱と、内箱の両方を準備する必要があります。
- 可能であれば、内容品のメーカー純正の梱包材を内箱として使用してください。
- 外箱は、オーバーパックとするために、内箱よりもすべての寸法で少なくとも14cm以上大きくなければなりません。二重構造の段ボールを使用することを推奨しますが、一重構造の段ボールを使用する場合は、内容品の重量に耐える強度があることを確認してください。
- 外箱の底部分には約6cmの高さで緩衝材を詰め、その上に内箱の内容品を入れてください。
- 内容品のまわりと上部に緩衝材をしっかりと詰め、内容品が動かないようにしてから封をしてください。

液体および粉末

一般的な家庭用の液体や粉末の一部は危険物に分類され、航空機での輸送が制限される場合があります。詳しくはカスタマーサービスにお尋ねください。

内容品が危険物に分類されていない場合は、以下の手順に従い、輸送中の損失や損傷を防ぐことで輸送することができます。

液体	半液体物質、油脂または強い匂いのある物質	粉末および微粒子
		
<p>「液体」は液漏れをしない容器に入れ、発泡スチロールなどの内部保護材で保護します。そしてビニール袋で密封した後、二重構造の段ボール箱に入れます。</p>	<p>「半液体物質」「油脂」または「強い匂いのある物質」は粘着テープで密封します。油脂をはじく紙で包み、頑丈な二重構造の段ボール箱に入れます。</p>	<p>「粉末」および「微粒子」は、頑丈なポリ袋に入れて、しっかり封をして耐久性のある繊維板ボックスへ梱包します。</p>

鋭利な物体

工具、機械部品、シェフが使うナイフなどが該当します。また、鋭利な刃を持つ通常の物品も含まれます。どのように梱包するかは、お客様の貨物を安全にお届けするためにも、貨物を扱う輸送業者の安全のためにも重要です。

以下は、荷物の梱包と包装が目的に適合していることを確認するためのヒントです。また、品質マニュアルやメーカーガイドもご参照ください。

1. 鋭利な物品は丈夫で安全な梱包で発送してください。パレットに縛り付けられたもの、二重梱包されていないもの、ビニールのフライヤーバッグのような不適切な梱包は、安全ではありません。
2. 鋭利な物品は、適切な保護ケースを使用するか、ボックス・イン・ボックス方式(前ページ)で発送してください。
 - a. 内箱には、内容品のメーカー純正パッケージの使用をお勧めします
 - b. 外箱は、内箱よりすべての寸法で少なくとも14cm大きくし、十分な大きさを確保してください
 - c. 内容品を箱の中央に置き、内箱を囲むように少なくとも6cmの隙間を埋めてください。これにより確実な緩衝となり、パッケージ内部の動きを抑えることができます
3. 強力な粘着テープを使用し、H字テーピング(11ページ参照)で外装を固定します。
4. 必要に応じてマーキング/ラベル(本書に記載)を貼付けします。

* 注: 内容品のメーカー純正パッケージは、複数回輸送することを想定して設計されていません。再利用は包装を弱め、内部の製品を危険にさらし、意図しない安全上の問題を引き起こす可能性があります。

書類

船荷証券や重要な各種契約書、ファイルなど、DHLではお客様の書類輸送ニーズに合った梱包資材をご用意しております。DHLでは、お客様の発送する書類の重量、サイズ、枚数に応じて、最適な梱包方法をご提案いたします。



書類 (1枚のみ)	複数の書類 (3kg未満)	複数の書類 (3kg以上)
		
<ul style="list-style-type: none"> ■ 24ページまで、または500gまでの書類の発送には、DHLのエンベロープをお使いください ■ 板紙の封筒は書類が曲がったり折れたりするのを防ぎます ■ 書類を入れて封をし、DHLフライヤーバッグに入れれば、湿気や汚れから書類を守ります 	<ul style="list-style-type: none"> ■ DHLフライヤーバッグは3kg以下の書類を送付するのに適しています ■ DHLフライヤーバッグに入れる前に、適切な封筒、スリーブ、またはフォルダに書類を固定してください ■ 必要に応じて、各封筒に連絡が取れる適切な連絡先情報を記入してください ■ 保護を高めるには、DHLフライヤーバッグの中に丈夫な板紙を入れると、輸送中の封筒内部での揺れが抑えられます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3kg以上の書類を持ち運ぶ場合は、丈夫な箱が必要です ■ 文章保存用の箱やコピー用紙の箱を使用しないでください。これらはエクスプレス輸送用に設計されていません ■ 必要に応じて連絡が取れる連絡先情報を記入した適切な封筒、またはフォルダに書類を入れます ■ 輸送中にボックス内の書類が中で揺れないように、隙間を埋めておいてください

密閉とラベル貼付け

貨物を密閉をすることで輸送中の内容品を保護します。輸送中に内容品が損傷を受けることがないようにするため、粘着テープを使って内容品を正しく密閉することが重要となります。

粘着テープを使用する

DHLでは、強度と耐久性に優れた以下の粘着テープを推奨しています。

- ポリプロピレンテープ (梱包用PPテープ)
- ビニール粘着テープ (絶縁用/防湿テープ)
- 繊維強化紙テープ (布テープ)



使用を避けるべきは...

クラフトテープ



セロハンテープ



マスキングテープ



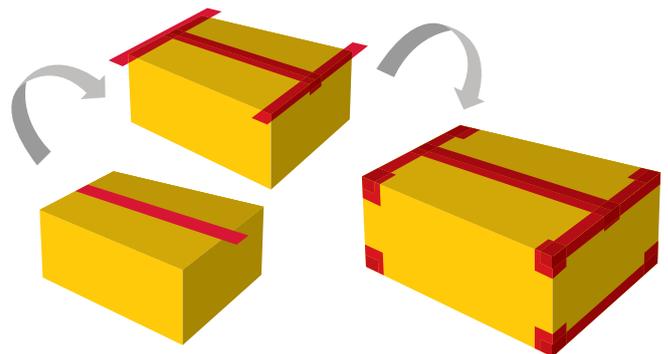
紐やロープ



H字テーピング

すべての継ぎ目がH字テーピングで密閉されていることを確認してください。

- 中央の開口部に沿ってテープを1本貼ります
- 両端の継ぎ目にテープを2本貼ります
- 重い荷物の場合、追加でテープを貼りましょう
- H字テーピングを繰り返し、箱の上部と底部の両方に施します



30kg未満の貨物にストラップの使用は認められていません

ストラップ

DHL Expressでは、30kg未満の貨物にストラップやバンドの使用を認めておりません。

重量が重くなると、当社のネットワーク機器とパッケージ自体にダメージを与える可能性があるためです。

適切な梱包は、ストラップやバンドを使わなくても、常に内容品の重量に耐えられる性能がなければなりません。

重量が30kgを超えるものを発送する場合は、ストラップをかけるのが理想的です。

取扱いラベル

DHLは、輸送中の貨物の安定した姿勢を保証することはできませんが、取扱いラベルを正しく使用することで、お客様の貨物を輸送中適切に輸送、取扱い、保管することができます。以下は一般的に使用されているラベルの例です。



*取扱いラベルは、貨物が集荷される前に荷送人が貼付けておく必要があります

運送状の貼付け

貨物が確実に輸送されるためには、運送状を明確に表示することが重要です。DHLのネットワークを通じて迅速にお届けするために、主なポイントをご紹介します。



- 運送状は貨物の梱包箱の上面にはがれないようにしっかりと貼ってください。これにより輸送中できる限り貨物の正しい向きが保たれるようにします
- 貨物の1つの面上で運送状全体が見えるように貼ります。なお、箱の継ぎ目部（開口部）の上に貼ったり、運送状の上にテープや添付書類などを貼らないでください
- 古い箱の再利用は推奨しませんが、もし使用する場合は、古い運送状ラベルなどはすべて剥がしてください
- 運送状の予備を梱包箱の内部に同封しておくこと、外側に貼った運送状が剥がれたり損傷した場合に貨物を見分けるために有効です
- 貨物に他のラベル等を貼る必要がある場合、運送状と同じ面に貼らないでください
- 梱包箱の外に添付しなければならない書類は、粘着テープ付き透明ビニールパウチに入れて、箱に貼付けてください



ご存知でしたか？

DHLのElectronic Shipping Solutions (ESS) なら、数回クリックするだけで簡単に出荷書類（運送状とインボイス）を作成できます。ESSでは、記入漏れが無いよう、ガイドに従って簡単にスムーズかつ正確な記入が可能です。

海外発送を効率的に管理したいお客様のニーズを満たす、最適なESSソリューションについては、DHL.comをご覧ください。

正しいパッケージングは、 二酸化炭素排出量の削減に 貢献します。

輸送した商品が破損した場合、不必要な再生産・再輸送をすることになります。
適切な梱包で商品を保護することは、二酸化炭素排出量の削減につながります。

DHL Express – Excellence. Simply delivered.

dhl.com

